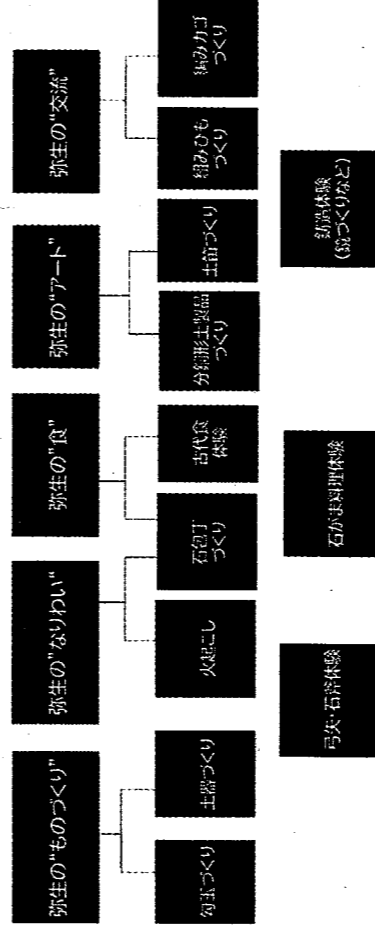


事業内容	回数 (発信の頻度、年間の実施回数等を記載)	人数等 (参加人数、SNSの閲覧に係る目標数値等を記載)	料金 (体験料などが必要なものは記載)	備考
1 「とっとり弥生の王国情報創造」に係る活用等事業 ●Webページの制作と運営、情報発信 ●Facebook、Twitter、YouTube、Instagram、Google Mapを活用した情報発信 ●史跡公園の広告及び各種イベントのポスター、チラシ、リーフレットの作成	SNSと運動週1回の更新を目標 最低週3~4回 目標は1日1投稿	初年度の目標 フォロワー1000人	SNSキャンペーンを計画	
2 「弥生文化を体感する」に係る活用等事業 ●一般向け体験等メニューの提供 火起こし 勾玉づくり 土器づくり体験 鏡づくり 編みカゴづくり ●県が行う調査研究の成果等を踏まえて行う講座等 弥生のものでづくり講座の企画と運営 弥生のなりわい講座の企画と運営 弥生の食講座 弥生のアート講座 弥生の交流講座	開催イベントにあわせて広告を実施、あわせてチラシ等を作成する。 常時体験を目標とする 常時体験を目標とする 目標80回~100回 目標80回~100回 目標80回~100回 利用状況にあわせて頻度を最適化。利用者の目線からできるだけ要望に沿う形で実施する。実施のオペレーションについても随時改善。 6回程度 6回程度 6回程度 6回程度 6回程度	無料 400円程度 360円 850円 300円	無料 天候により実施できない場合あり	
3 「弥生文化と地域に学び、楽しむ」に係る活用等事業 ●史跡公園及び周辺地域の文化、文化財、名所、旧跡等に関する解説 自主事業でウォーキングイベントを提案	随時 年4回程度	100名 100名 100名 100名 100名	実費程度 実費程度 実費程度 実費程度 実費程度	受付担当職員の研修などを通じたスキルアップ 保険代、入園料、弁当代等を想定

事業内容
2 「弥生文化を体感する」に係る活用等事業 ●青谷かみじち史跡公園オリジナル体験メニューの企画と提供

弥生文化を体感する “テーマに沿った体験メニュー”



団体向け発掘体験
弥生文化財集のガイド→発掘体験→発掘品や出土品と比較・用途や制作技法などを考察→まとめ

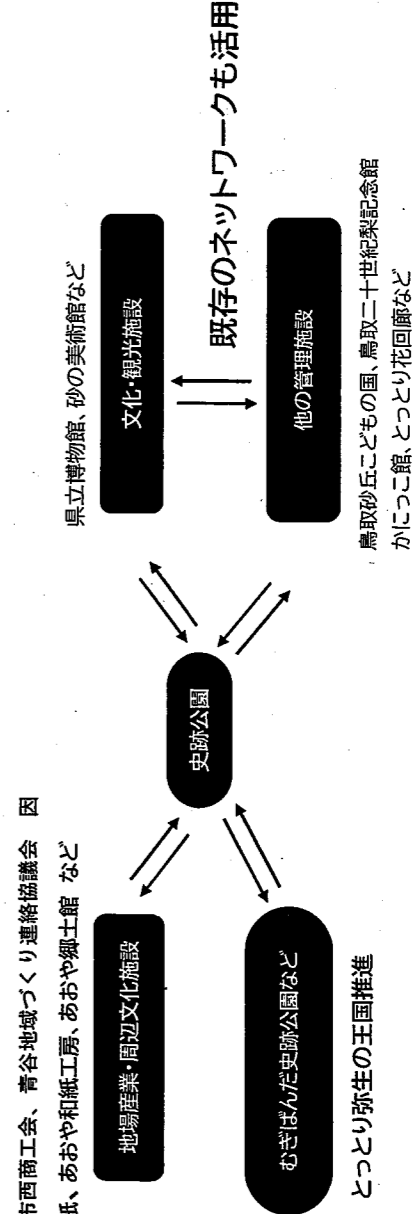
体験メニュー	想定体験時間	対象	金額	備考
石包丁づくり	60分	小学校中学年~	300円	
弓矢・石斧体験	30分	小学生~	無料	要予約
古代食体験	内容次第	小学生~		要予約
分形粘土製品づくり	60分	小学生~	300円	要予約
土器づくり	45分	小学校中学年~	360円	要予約
組みひもづくり	40分	小学生~	無料	
鑄造体験	60分~90分	小学校高学年~	1200円~	内容による
絵葉書づくり	20分	幼児~	無料	
石がま料理体験	内容次第	小学生~		要予約
団体向け発掘体験	120分	小学生~		要予約

・参加費は目安を記載しています。類似施設と比較して同等か安価に設定します。(材料費程度)
・対象年齢は保護者、引率者同伴で条件緩和可能だと考えています。

上記の体験メニューのほか、オリジナル体験メニューの開発に随時取り組みます。
類似施設や他団体などとの交流を通じて、常にブラッシュアップを行い、内容の充実に取り

4 「史跡を活かした地域振興」に係る活用等事業
●地場産業や周辺文化施設との連携

鳥取市西商工会、青谷地域づくり連絡協議会 因
州和紙、あおや和紙工房、あおや郷土館 など
地場産業や周辺の文化施設等との連携を図るとともに、共催事業の開催など、地域振興に繋がる取り組みを積極的に展開します。
共同事業体のスケールメリットを生かし、青谷周辺はもとより、県内外の広域に文化・観光施設等と連携・協力し地域振興につながる取り組みを強力に推進します。



鳥取砂丘こどもの国、鳥取二十世紀記念館
かにっこ館、とっとり花回廊など

5	「観光資源としての活用」に係る活用等事業
提案内容	<p>● 県・市の観光連盟等と連携によるエージェントへの情報発信</p> <p>観光情報説明会や共同事業体他施設との協働により、年間30社程度のエージェントへ情報発信を行います。</p>
提案内容	<p>● 観光商品の企画、提案（売り込み）</p> <p>教育旅行を中心に企画を造成し、情報説明会・共同事業体他施設との共同セールスにより年間20社程度のエージェントに対し、セールスを行います。</p>
提案内容	<p>● 県内外の類似施設や観光施設との連携</p> <p>国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画 第IV章 第2節 5 国内外の交流・連携による活用 (1) 倭人ネットワーク 6 観光資源としての活用 (1) 歴史遺産観光 に基づき、県内外の類似施設に対して積極的な関係構築を図ります。</p>
提案内容	<p>● 訪日外国人観光客の誘客</p> <p>現在の指定管理施設の誘客の取組として、インバウンド誘客活動を行っており、海外の旅行会社からの送客実績があります。 こうした共同事業体のスケールメリットを生かし、既存のコネクションを活用して台湾・韓国・香港などインバウンド誘客に取り組みます。</p>

